

特集

冬も お願いします 「節電」「省エネ」



問▼環境首都推進課
(☎71-22006)

- 入浴の間隔を空けない
- シャワーは、必要な時だけ利用する
- 浴槽にふたをする



電力供給不足が懸念された今年の夏。社会全体で節電に取り組み、大規模停電など電力危機を回避することができました。市民の皆さんも、節電に心がけいただき、ありがとうございました。

節電は、家計に優しく、地球温暖化対策にもつながります。冬も引き続き、節電・省エネの取り組みを、無理のない範囲でお願いします。

今回は、冬の節電・省エネ方法を紹介します。

工夫で節電 ・省エネ

- 一つの部屋で家族団らんして過ごす
- 窓に断熱フィルムを貼る
- 衣服を1枚多く着る
- 保温性の高い下着を着る
- 乾布摩擦をする
- 湯たんぽを利用する
- 体が温まる食べ物を食べる



家電の節電 ・省エネ

◎暖房家電

- 設定温度は室温20℃を目安に必要な時だけ使用する
- こたつ
 - 掛け布団の上に毛布などを上掛けする



◎その他の家電

- 電気ポット
 - 就寝時など、長時間利用しない場合は、電源を切る
- 温水洗浄便座
 - 使用しない時はふたを閉める
 - 便座・洗浄水のこまめな温度設定をする

■冷蔵庫

- 外気温にあわせて、設定温度を変える
- 扉の開け閉めを短く少なくする
- 物を詰め込みすぎない

■照明

- こまめに消灯する
- こまめに、かさやカバーの掃除をする
- 白熱電球を、電球型蛍光灯やLEDなど消費電力の少ないものに取り替える

■その他

- 省エネモードを活用する
- 待機電力を減らす。未使用の電気製品のプラグは、なるべくコンセントから抜くようにする

- ホットカーペット
 - カーペットの下に、断熱シートを使用する
 - 分割使用ができる場合は、必要な場所だけ使用する
 - 膝掛けを併用する
- ストーブ・ファンヒーター・エアコン
 - 扇風機を併用し、暖まった空気を循環させる
 - カーテンを併用する
 - ファンヒーター・エアコンは、フィルターをこまめに掃除する
 - エアコン室外機のまわりに物を置かない

